

# オープンアクセスの ビジネス環境と粗悪学術誌

佐藤翔（同志社大学）



オープンアクセス雑誌  
粗悪学術誌



オープンアクセス雑誌

---

粗悪学術誌



背景：學術雜誌超略史と  
「受益者」



# S I D E R E V S N V N C I V S

MAGNA, LONGEQUE ADMIRABILIA  
Spectacula pandens, suspiciendaque proponens  
vnicuique, præsertim verò

*PHILOSOPHIS, atq; ASTRONOMIS, quæ à*

GALILEO GALILEO  
PATRITIO FLORENTINO

*Patauini Gymnasij Publico Mathematico*

P E R S P I C I L L I

*Nuper à se reperti hucusque sunt observata in LVNÆ FACIE, FIXIS IN-  
NUMERIS, LACTEO CIRCVLO, STELLIS NEBVLIS,*

*Apprime verò in*

Q V A T V O R P L A N E T I S

*Circa IOVIS Stellam disparibus intervallis, atque periodis, celeri-  
tate mirabili circumvolant; quos, nemini in hanc usque  
diem cognitos, nouissimè Author depre-  
hendit primus; atque*

M E D I C E A S I D E R A  
N V N C V P A N D O S D E C R E V I T.



VENETIIS, Apud Thomam Baglionum. M D C X.

*Superiorum Permissu, & Privilegio.*

ガリレオ・ガリレイ  
の著書の表紙



# トウルン・ウント・タクシス その郵便と企業の歴史

ヴォルフガング・ベーリンガー  
Wolfgang Behringer

高木葉子 訳  
Yoko Takagi



*Thurn und Taxis*  
*Die Geschichte ihrer Post und ihrer Unternehmen*

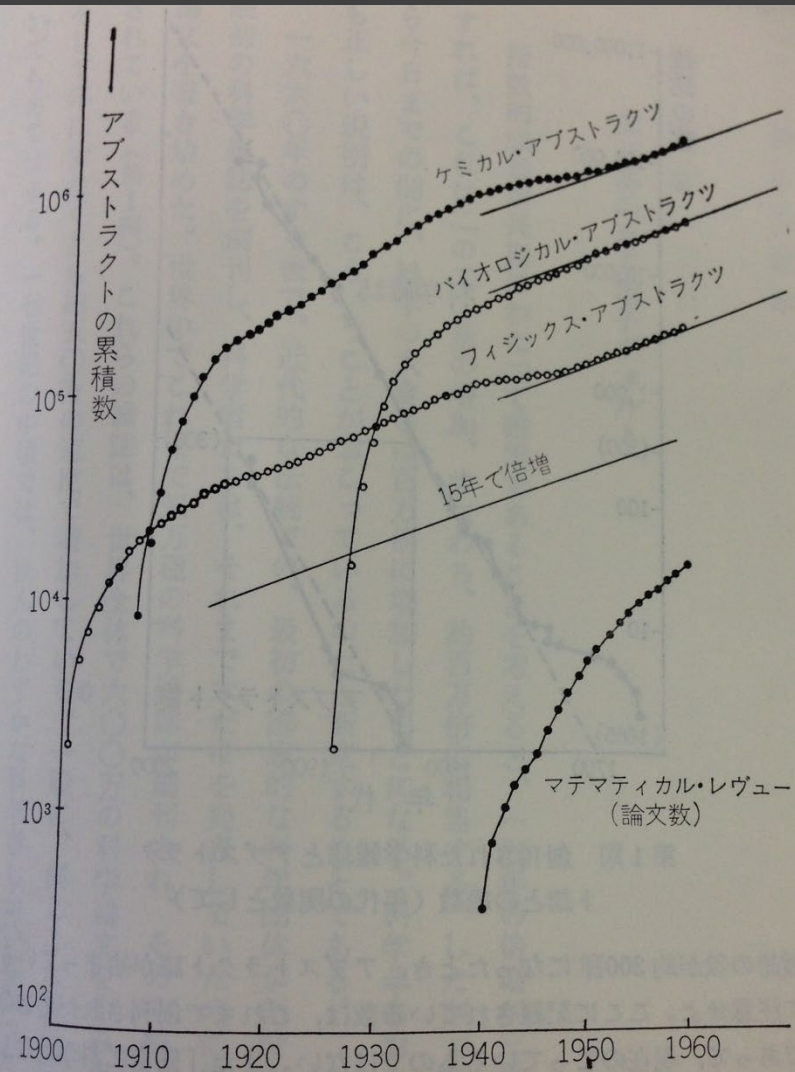




Henry  
Oldenburg  
(1618~  
1677)

1665 “Philosophical  
Transactions”誌を創刊

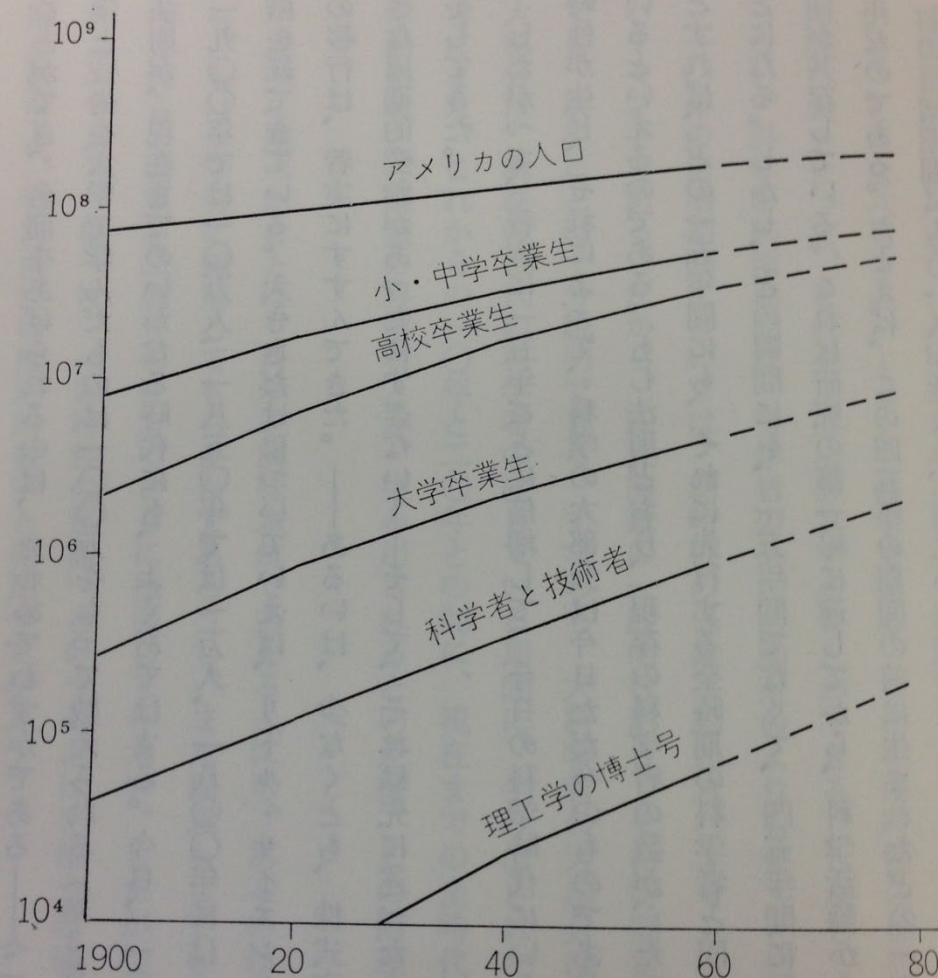




第2図 科学の各分野でのアブストラクトの累積数 (アブストラクトの始まりから、ある時期まで)

初期の急速な膨張の後に、安定した成長速度となるが、アブストラクト数の増加は指数的であり、ほぼ15年で2倍になることが注目される。

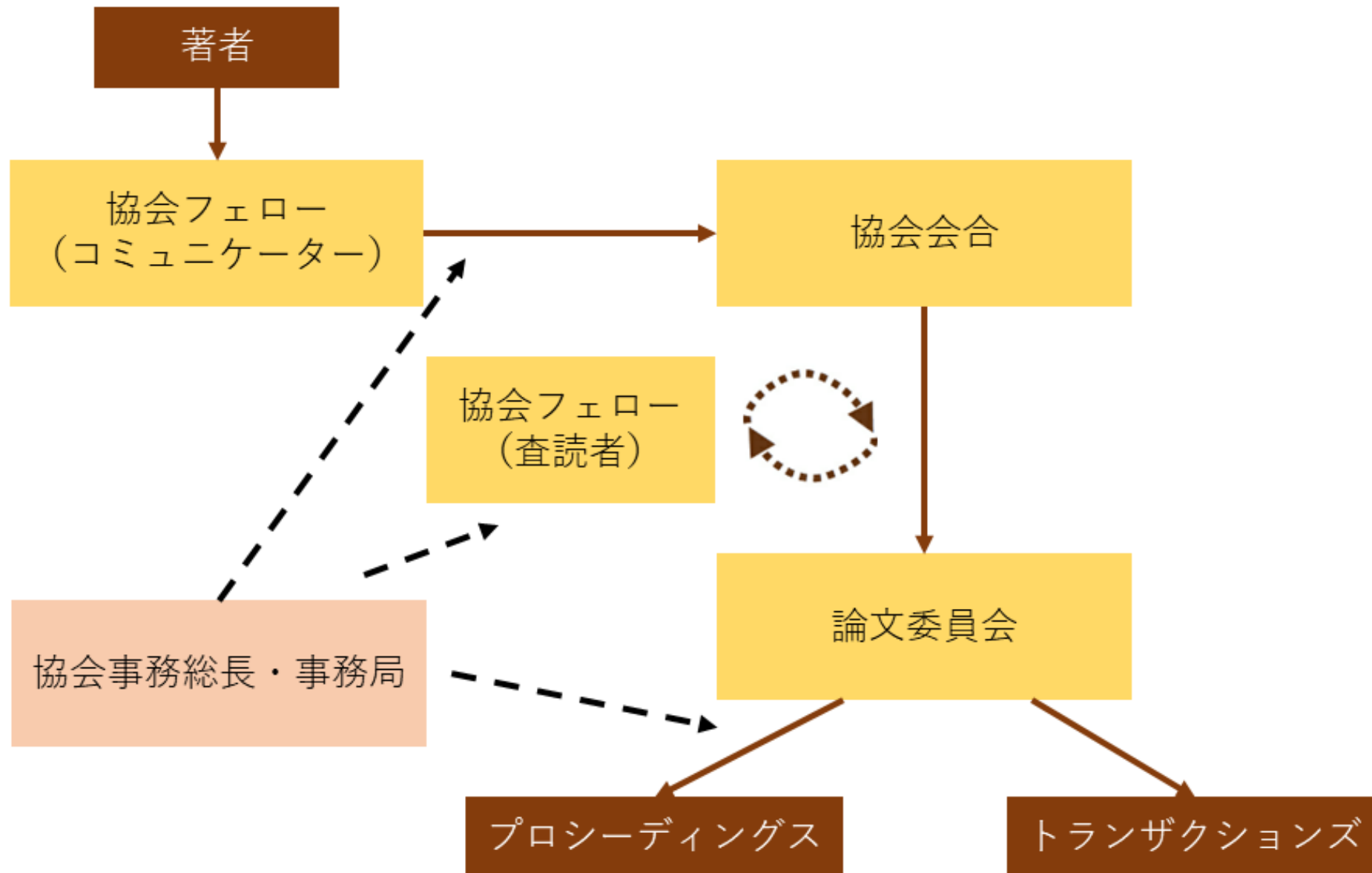
# 科学の科学への序曲



第3図 科学の人的資源と合衆国の一般人口との成長

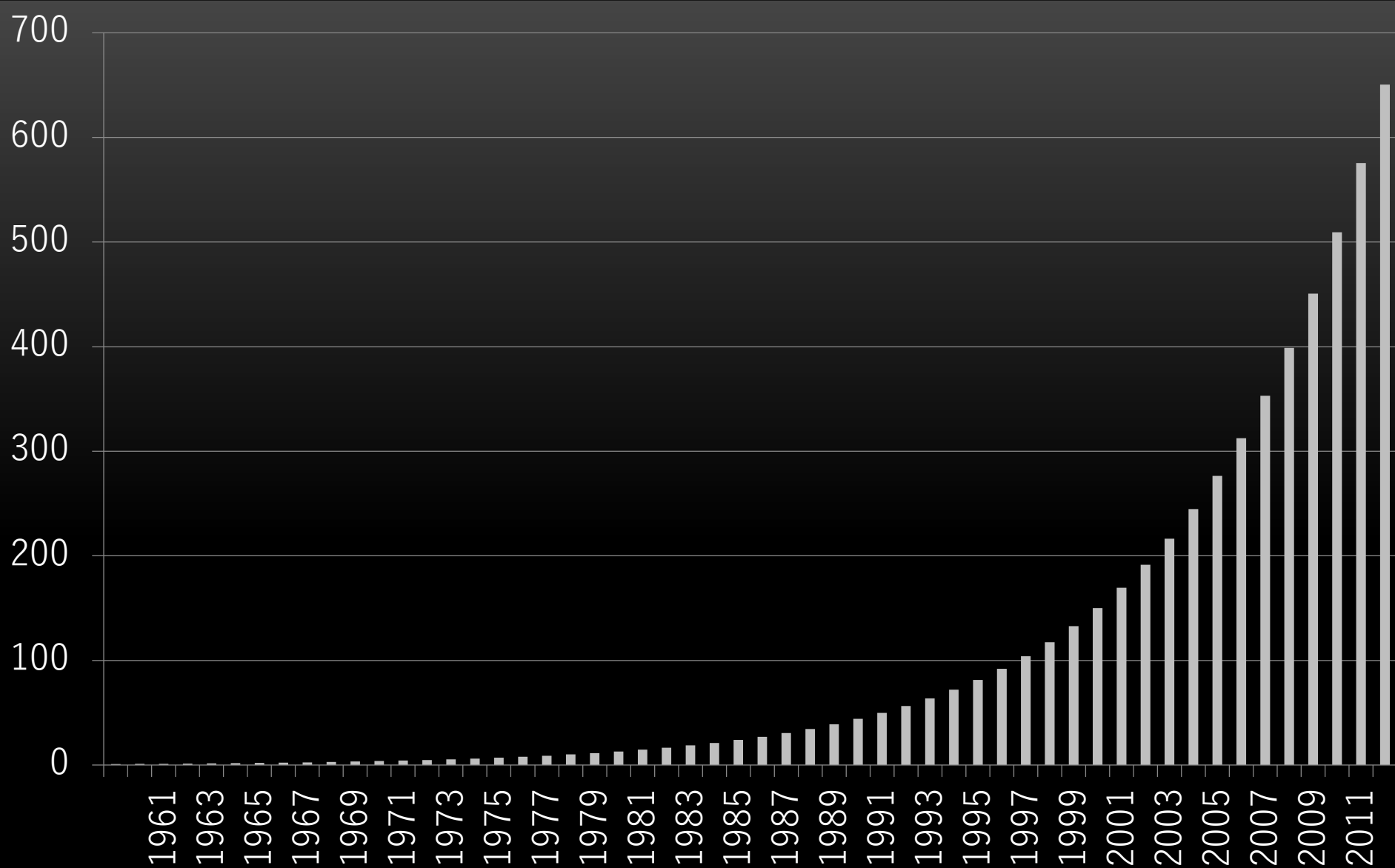
高度の資格をもつ人的資源ほど、成長率の大きいのが見られる。どの曲線も、人口曲線と平行する極限值に向うはっきりした傾向があることも注目される。





査読導入時期の『フィロソフィカル・トランザクションズ』編集フロー図





1960年の値を1とし、前年比13%の増加を  
続けると……



# オープンアクセスの背景

- 雑誌価格高騰への対抗／新たなモデルの構築
  - 「雑誌が高くて買えない／読めない」をどうにかしたい
- 研究成果の自由／迅速な流通の実現
  - 時間がかかる／自由に再利用できないのをどうにかしたい



# オープンアクセスの登場

- 研究成果（主に査読業績）の自由な流通実現を目指す運動
- 「インターネット上において、誰もが読み、ダウンロードし、コピーし、再配布し、印刷し、検索し、それらの論文のフルテキストにリンクを貼り、（サーチエンジン等の）インデキシングのためにクロールし、データとしてソフトウェアに流し込み、その他あらゆる合法的な目的のために、インターネットにアクセスできることそれ自体を除く経済的、法的、技術的な障壁なく文献を利用できるようにすること」  
(BOAI 2002)



# オープンアクセスの手段

- セルフ・アーカイブ／リポジトリ公開
  - 機関リポジトリ、プレプリント・サーバ等
- オープンアクセス（OA）雑誌
  - 完全オープンアクセス（APC型・ダイヤモンド型）
  - ハイブリッド／転換契約



# APC型雑誌

- Article Processing Charge（論文処理加工料）
  - 著者支払／ハイブリッド型の雑誌で著者が支払う費用
- 紙媒体を流通させないOA雑誌の場合：
  - 読者が増大してもコストはほぼ増大しない（コストの大半は固定費）
  - 受益者の中で著者の側がコストを負担するモデルが可能になる
  - 「必要な人に届ける」という観点からはこっちの方が健全
- OA雑誌のもう一つの利点：新規創刊のチャンス
  - 購読型では図書館予算が参入障壁に
  - APCは予算が別であるので新規参入が比較的容易に



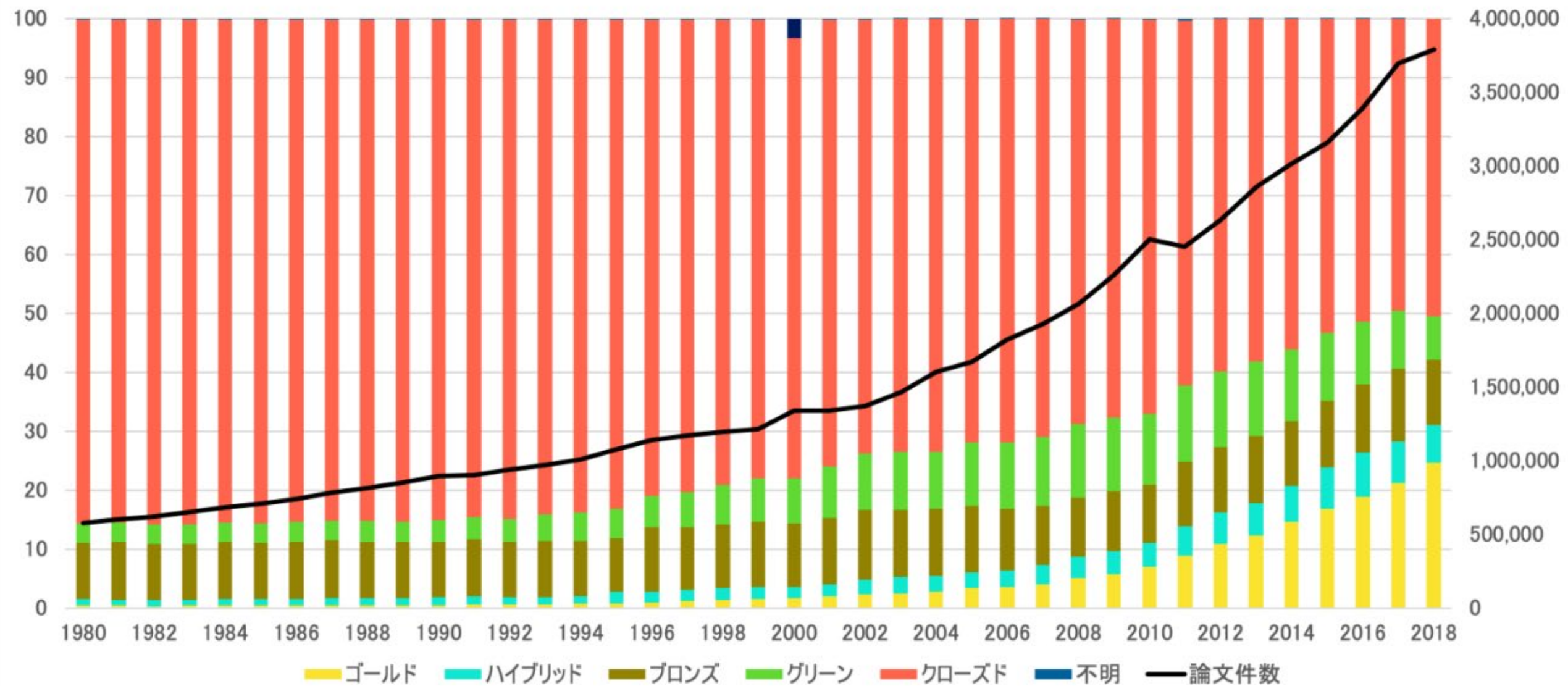
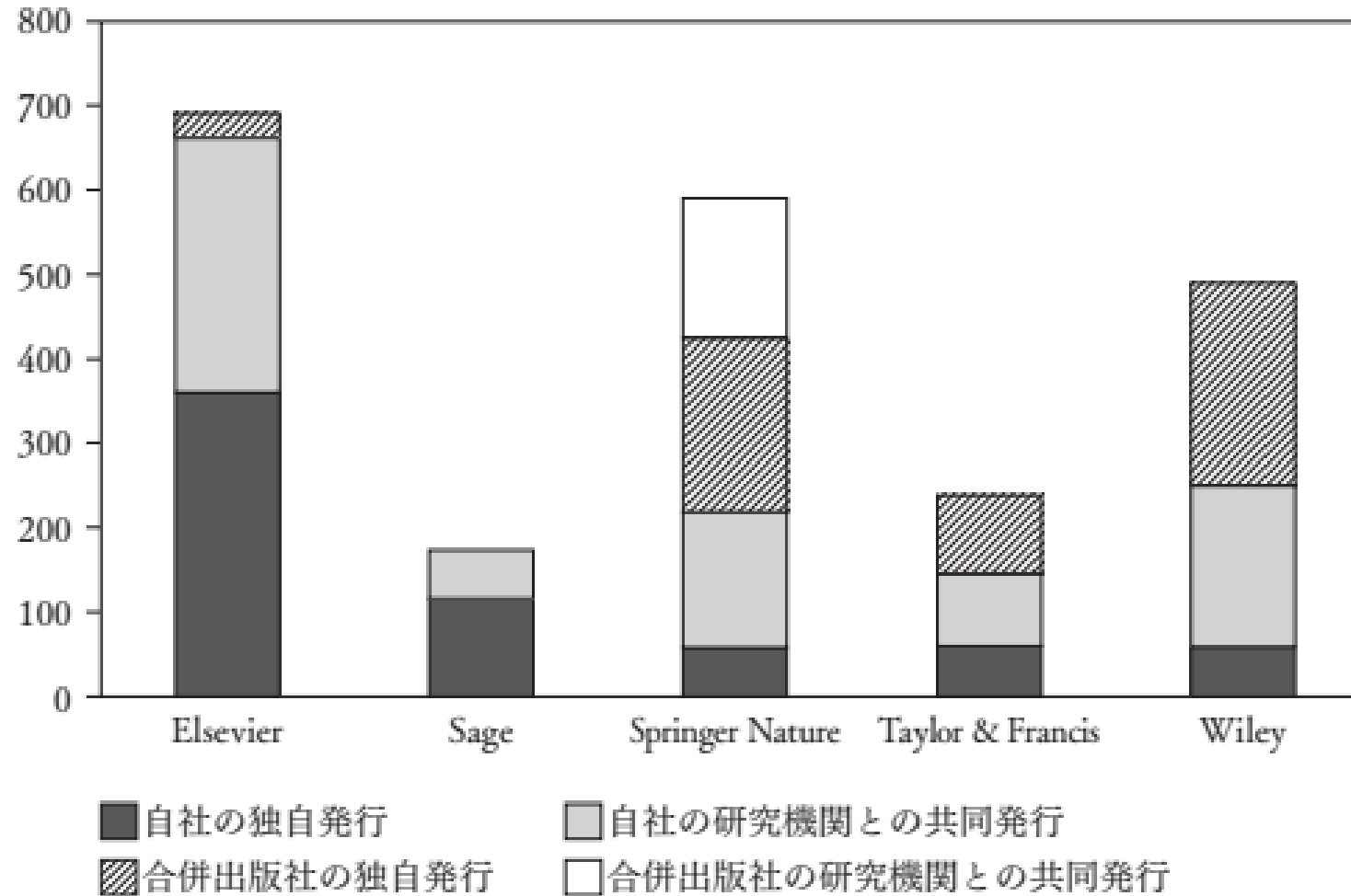


図 9: 世界における出版年ごとの OA 状況.



図 3-1 ゴールドオープンアクセスジャーナルの内訳（タイトル数）



出所：著者調査により作成

出典：浅井（2023）



# OA雑誌論文掲載数上位20位 (2021)

Rank	Journal	Number of articles	Publishing model*	Publisher
1	Scientific Reports	23,315	GOA	Nature Research
2	PLOS ONE	15,915	GOA	Public Library Science
3	<b>Sustainability</b>	<b>13,766</b>	<b>GOA</b>	<b>MDPI</b>
4	<b>International Journal of Molecular Sciences</b>	<b>13,391</b>	<b>GOA</b>	<b>MDPI</b>
5	<b>International Journal of Environmental Research and Public Health</b>	<b>13,068</b>	<b>GOA</b>	<b>MDPI</b>
6	IEEE Access	12,388	GOA	IEEE
7	<b>Applied Sciences–Basel</b>	<b>11,798</b>	<b>GOA</b>	<b>MDPI</b>
8	Science of the Total Environment	9350	Hybrid	Elsevier
9	<b>Energies</b>	<b>8371</b>	<b>GOA</b>	<b>MDPI</b>
10	<b>Sensors</b>	<b>8340</b>	<b>GOA</b>	<b>MDPI</b>
11	<b>Materials</b>	<b>7716</b>	<b>GOA</b>	<b>MDPI</b>
12	<b>Molecules</b>	<b>7529</b>	<b>GOA</b>	<b>MDPI</b>
13	Nature Communications	6893	GOA	Nature Research
14	Chemical Engineering Journal	6441	Hybrid	Elsevier Science Sa
15	ACS Applied Materials & Interfaces	6149	Hybrid	Amer Chemical Soc
16	<b>Cancers</b>	<b>6094</b>	<b>GOA</b>	<b>MDPI</b>
17	Journal of Alloys and Compounds	5990	Hybrid	Elsevier Science Sa
18	Monthly Notices of the Royal Astronomical Society	5944	Hybrid	Oxford Univ Press
19	Frontiers in Psychology	5892	GOA	Frontiers Media Sa
20	<b>Journal of Clinical Medicine</b>	<b>5816</b>	<b>GOA</b>	<b>MDPI</b>

出典：Csomós & Farkas (2023)



オープンアクセス雑誌

---

粗悪学術誌



オープンアクセス雑誌

粗悪学術誌



Predatory  
publishing  
(ハゲタカ)



# Predatory publishing

- 編集委員・所在地に関する誤情報をウェブサイトに掲載する等の不正な行為
  - 査読を行わない・無視する等により質が低い・問題のある論文を掲載
  - APC収入を目的とする
- Xia (2022)<sup>1)</sup>
- “Predatory”の名付け親はJ. Beall氏
    - 日本の定訳「ハゲタカ」は首都大・栗山氏
    - いずれも疑義あり（「捕食」か？ ハゲタカへの風評被害？）



# Pradatory OA概史（1）

- 2000年代 一部OA雑誌の悪質なスパム等が問題視される
- 2009年 P. Davisの実験：でたらめ論文を一部OA誌が受理
- 2012年 J. Beall氏 Predatory journalのリストや採録基準公開
- 2013年 Science「査読なんて怖くない」実験
  - 高校レベルの初歩的な誤りを含む論文を多数の雑誌に投稿
  - 商業雑誌も含む多くの雑誌が受理してしまう
  - 特に**Beallのリストに掲載された出版者は82%が受理**
  - **一躍、Predatory publishingの存在が認知される**

同年、栗山正光氏がPredatory Publishingを「ハゲタカ出版社」と訳し日本語で紹介



# Predatory OA概史（2）

- 2016年 米連邦取引委員会（FTC） OMICSグループを提訴
  - OMICSグループはPredatorの中でも大手
- 2017年 Beallのリスト公開停止
  - 出版社による訴訟＋所属大学による圧力とも言われるが・・・？
  - 後継リストは多数存在
- 2018年 毎日新聞による「粗悪学術誌」シリーズ開始
- 2019年 OMICS訴訟でFTCの主張が認められる

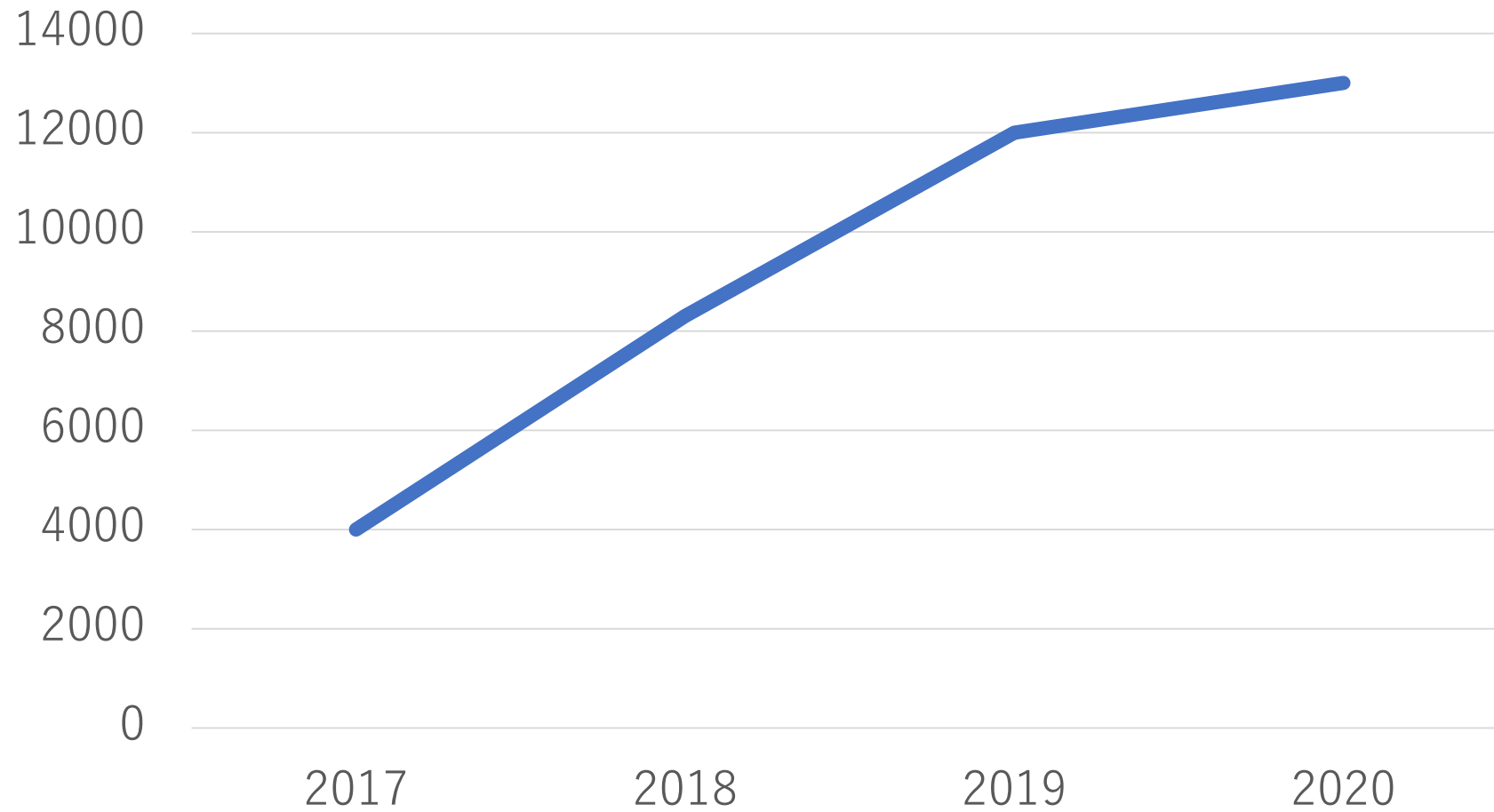
日本医学会「悪徳雑誌への注意喚起について」 発表

富山大学「学術論文の定義」 発表

OSF Predatory journalの定義を発表（後述）



# Predatory Journalの数



Xia (2022) Table 3.2より作成



Predatorの背景



## Predatorの2つの背景 (Xia 2022)

- APC型のオープンアクセス雑誌
- 「Publish or perish」が発展途上国に持ち込まれたこと



# APC型雑誌の抱える課題

- 「質」と「採算」のバランス
  - APCは通常「出版された」論文のみ徴収
  - 査読で多くの論文を却下すると…コストに見合う費用が回収できない
- **「質」を度外視して全部受け入れれば短期的には儲かる（長期的には低迷？）**



# 発展途上国と業績数偏重主義

- 途上国の研究体制・評価もグローバル化
- 国際英文誌への掲載数が問われるように
  - 十分な英語能力がなくても
  - 国際誌に採録される研究水準でなくても
- 受け皿となる媒体への需要が高まる



# Predator著者の多い国

国名	論文数	割合
ナイジェリア	889	21.6%
中国	849	20.6%
インド	634	15.4%
イラン	522	12.7%
パキスタン	382	9.3%
マレーシア	215	5.2%
トルコ	189	4.6%
サウジアラビア	153	3.7%
ブラジル	146	3.6%



# 「粗悪学術誌」は問題？（１）

- 粗悪 = 「質が低い」こと
- 雑誌の「質」とは？
  - 掲載論文の質？
  - エディトリアル質の質？



# 「粗悪学術誌」は問題？（2）

- 質が「低い」雑誌は当たり前存在する
  - 査読はあるが比較的緩い
  - そもそも査読がない＝紀要
  - 運営・編集体制が整っていない
- 発表先の選択肢の一つとして必要なもの
  - 発展途上国等が自ら出す雑誌：成長を企図
  - 駆け出しの研究者・凄くはないが発表はしたい成果…



# 「粗悪」雑誌と「邪悪」雑誌

- 初期に問題視されたのは大手OA出版
  - Bentham、Hindawi、MDPI、Frontiers・・・
  - これらを”Predator”と見なすのは誤り
  - まっとうにビジネスをやる気はあるが、行儀が悪かった
- 端からまともに学術雑誌をやる気のない集団
  - 「邪悪」と表現せざるを得ないビジネスモデル
  - 本当に避けたいのはこっち



# Predatory OAの定義（OSF版）

- 学問を犠牲にしてでも自己の利益を優先するもの
- 特徴
  - 虚偽あるいは誤解を招く情報（の掲載・公開）
  - 編集・出版に関するベストプラクティスからの逸脱
  - 透明性の欠如
  - 攻撃的・無差別な勧誘
- 質が低いことではなく、詐欺的行為が問題である
  - 出典：Nature 576, 210-212 (2019) doi: 10.1038/d41586-019-03759-y



# Predatory journalのSpectrum



- InterAcademy Partnership (IAP) 策定
- 「詐欺」～「質が保証されている」雑誌までの段階と典型的特徴／決定的判断基準を示している
- 投稿先選択として注意すべき点はもちろん、雑誌運営サイドとしてどこを改善していくべきかの参考にも



# PredatorのSpectrumより

- **詐欺／欺瞞雑誌**

- 虚偽情報を掲載、あるいは必要な情報をあえて隠す
- 意図的に著者・読者を騙そうとしている
- 「訴えられれば負ける」／改善の余地がない（「邪悪」）

- **質が低い雑誌（ひどく低い～がんばっているが低い）**

- 学術雑誌をやろうという気はあるが、問題が多い／質が低い
- 問題点を改善していく余地がある

- **質が保証されている雑誌**

- そうした雑誌でも問題のある手口をとることはある



# 邪悪な雑誌を避けるには？

- ブラックリスト方式
- ホワイトリスト方式
- チェックリスト方式



# チェックリスト方式

- 「これらに当てはまるのはOK」や「危ない」を示して各自に確認をお願いする
- 現状ではこれが最善の一手？
- Think. Check. Submit.
  - <https://thinkchecksubmit.org/>
  - <http://thinkchecksubmit.org/translations/japanese/>
- Predatory Journal Spectrum



# 投稿者以外にも・・・

- エディターとして
  - Inviting mailが来てのってしまう
  - 勝手に名前を掲載される
- 査読者として
  - ハゲタカの査読をさせられる（意味なく）
  - 査読依頼にはガードが甘くなる
- 投稿していない著者として？！（NEW!!）
  - 巻頭言等に勝手に名前を使われる（雑誌の泊付けのため？）



# Predatorなんて怖くない？

- 危ない橋を渡る必要がなければ問題ない
  - 「ワンチャン通れば！」 「とにかく出さなきゃ！」 が危険
- 互いに相談・情報共有しやすい環境
  - 橋の危なさ・危なくない橋を共有
- ハゲタカに出すくらいなら和文、紀要、研究ノートでもいいはず
  - 査読済み英語原著論文偏重主義が諸悪の根源



Predatorなんて  
怖く、ない???



# Wiley to stop using “Hindawi” name amid \$18 million revenue decline

Wiley will cease using the beleaguered Hindawi brand name, the publisher announced on an earnings call Wednesday morning.

Wiley plans to integrate

Hindawi's approximately 200 journals into the rest of its portfolio by the middle of next year.





# Hindawi大量撤回の背景

- 「特集号」 (special issue) とゲスト・エディター
- 「論文工場」 (paper mill)
- 「査読リング」 (peer-review ring)



# OA雑誌の「特集号」

- 「特集号」の企画提案・ゲストエディターを募集する
  - ゲストエディターは投稿募集・査読等のプロセス全体に関与
- 雑誌にとって：コンテンツ・APCを労力をかけず収集
- ゲストエディター：汲みたい企画を提案できる
- 巻号のつく通常号とは別の扱い？
  - 査読の基準／研究評価指標の集計時の扱い
- 「Predatoryな行い」の一種との見方も



# 論文工場 (paper mill)

- 論文を安価・大量に「製造」 (無意味な内容あるいは捏造)
- オーサーシップ (著者に入る権利) を販売⇒収入を得る
- 組織だった (潜在的な) 違法・詐欺的行為
  - 少なくともオーサーシップや捏造に関わる重大な研究不正
- 過去数年で急速に成長



# 査読リング (peer-review ring)

- 互いの論文について、好意的な査読をしあおう、という（過去の例としては個人的な）ネットワーク
- 多くの場合、発覚しえない（福井大学の場合も内部通報がなければ発見は困難）
  - Cf: 投稿者個人による査読不正（発覚しやすい）



# Hindawiで起きたこと

- 「論文工場」関係者がゲストエディターとして特集号を提案
  - Hindawiの審査をパスして採用されてしまう
- 「論文工場」論文を特集号に投稿
  - 時には並行してオーサーシップを販売
- 査読は工場関係者の査読リング等で回す
- 特集号が「論文工場」製造論文まみれに！



# Hindawi大量撤回からの教訓

- 完全にPredatorではない雑誌でも、predatoryな行いはある
- その隙をさらに論文工場に利用される⇒大損害へ
- 善良な投稿者にとっては巻き込み事故だが……

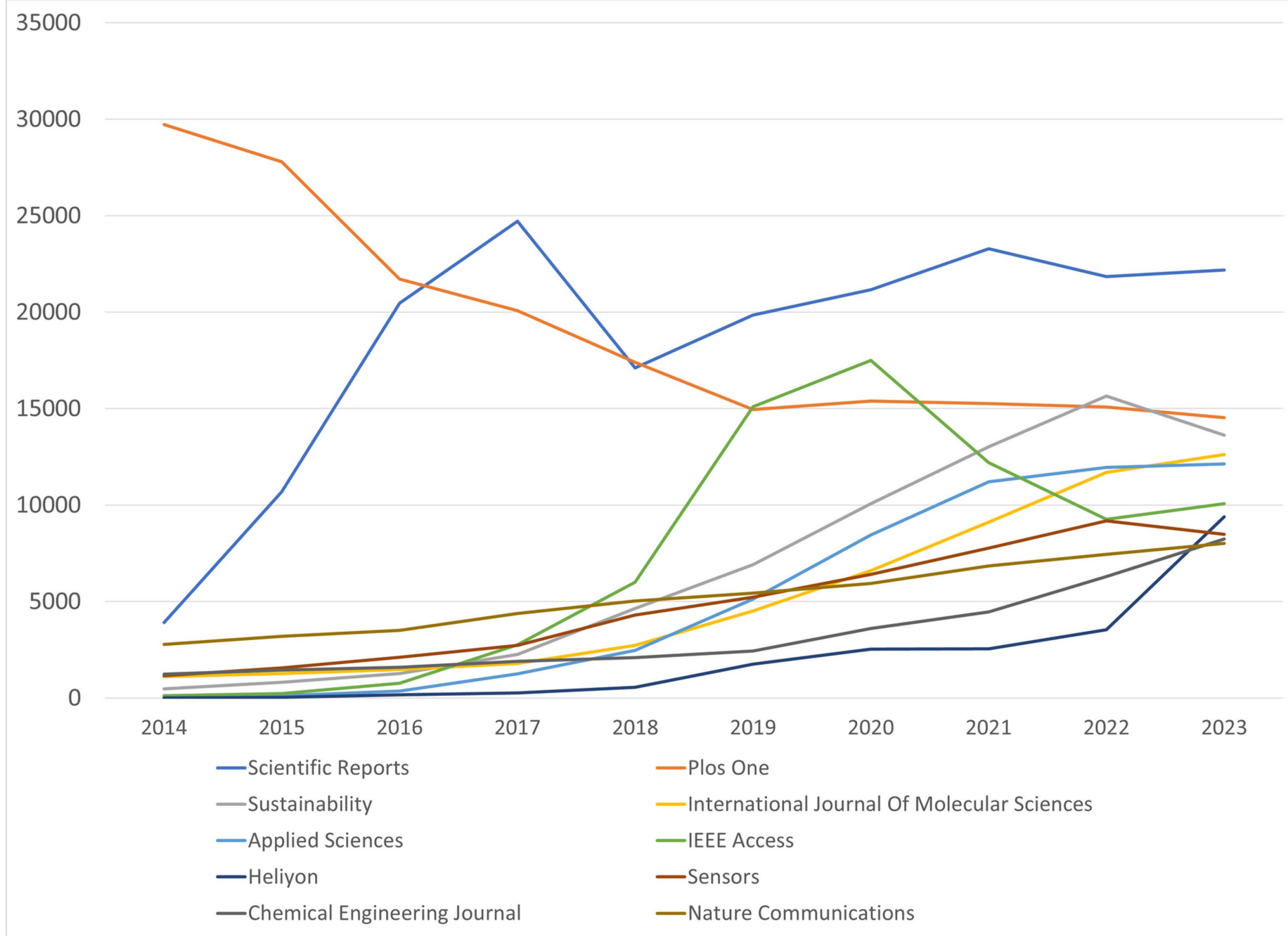


やっぱり

「質が低い」のも

問題なのでは？





2023年の掲載論文数上位10誌の過去10年間の論文数推移



[Submit to Sustainability](#)[Review for Sustainability](#)[Propose a Special Issue](#)

## Journal Menu

- [Sustainability Home](#)
- [Aims & Scope](#)
- [Editorial Board](#)
- [Reviewer Board](#)
- [Topical Advisory Panel](#)
- [Instructions for Authors](#)
- **[Special Issues](#)**
- [Topics](#)
- [Sections & Collections](#)
- [Article Processing Charge](#)
- [Indexing & Archiving](#)
- [Editor's Choice Articles](#)
- [Most Cited & Viewed](#)
- [Journal Statistics](#)
- [Journal History](#)
- [Journal Awards](#)
- [Society Collaborations](#)
- [Conferences](#)
- [Editorial Office](#)

## Journal Browser

[Go](#)

- [Forthcoming issue](#)
- [Current issue](#)

Vol. 17 (2025)	Vol. 8 (2016)
Vol. 16 (2024)	Vol. 7 (2015)
Vol. 15 (2023)	Vol. 6 (2014)
Vol. 14 (2022)	Vol. 5 (2013)
Vol. 13 (2021)	Vol. 4 (2012)
Vol. 12 (2020)	Vol. 3 (2011)
Vol. 11 (2019)	Vol. 2 (2010)
Vol. 10 (2018)	Vol. 1 (2009)
Vol. 9 (2017)	

## Special Issues

*Sustainability* publishes Special Issues to create collections of papers on specific topics, with the aim of building a community of authors and readers to discuss the latest research and develop new ideas and research directions. Special Issues are led by Guest Editors, who are experts on the topic and **all Special Issue submissions follow MDPI's standard editorial process**. The journal's Editor-in-Chief and/or designated Editorial Board Member will oversee Guest Editor appointments and Special Issue proposals, checking their content for relevance and ensuring the suitability of the material for the journal. The papers published in a Special Issue will be collected and displayed on a dedicated page of the journal's website. **Further information on MDPI's Special Issue policies and Guest Editor responsibilities can be found here**. For any inquiries related to a Special Issue, please contact the Editorial Office.

Section	Search by Title/Keyword	
<input type="text" value="All Sections"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="Search"/>
Order results	Display	Results per page
<input type="text" value="Submission Deadline"/>	<input type="text" value="Open Special Issues"/>	<input type="text" value="100"/>

### Advancements in Concrete Materials for Sustainable Construction

edited by **Mouhcine Benaicha**

submission deadline **30 Apr 2026** | Viewed by 11 | [Submission Open](#)

**Keywords:** self-compacting concrete; ultra-high-performance concrete; fiber-reinforced concrete; sustainable materials; recycled aggregates; geopolymer concrete; low-carbon construction; eco-friendly materials; advanced concrete technologies

### ESG as a Catalyst for Business Sustainability: Theoretical Insights and Practical Applications

edited by  Zhilin Yang,  Hui Lu and  Gang Li

submission deadline **20 May 2026** | Viewed by 54 | [Submission Open](#)

**Keywords:** sustainable development; ESG (environment; social and governance); business sustainability; corporate social responsibility; environmental management; climate change; digitalization; innovation and sustainability; green finance

(This special issue belongs to the Section Economic and Business Aspects of Sustainability)

### Sustainable Design, Evaluation and Optimization of Eco-Friendly Construction Materials

edited by  Shaopeng Wu,  Chuanming Sun, Hanqi Liu and Anqi Chen

submission deadline **31 Aug 2026** | 7 articles | Viewed by 10772 | [Submission Open](#)

**Keywords:** material characteristics; environmental impact assessments; urban infrastructure optimization; eco-friendly material assessments; advanced pavement construction materials; material visual optimization; sustainable culture development

(This special issue belongs to the Section Sustainable Materials)

Displaying special issue 1701-1800 on page 18 of 18.

Go to page [18](#)



[Submit to Sustainability](#)
[Review for Sustainability](#)
[Propose a Special Issue](#)

## Journal Menu

- [Sustainability Home](#)
- [Aims & Scope](#)
- [Editorial Board](#)
- [Reviewer Board](#)
- [Topical Advisory Panel](#)
- [Instructions for Authors](#)
- **[Special Issues](#)**
- [Topics](#)
- [Sections & Collections](#)
- [Article Processing Charge](#)
- [Indexing & Archiving](#)
- [Editor's Choice Articles](#)
- [Most Cited & Viewed](#)
- [Journal Statistics](#)
- [Journal History](#)
- [Journal Awards](#)
- [Society Collaborations](#)
- [Conferences](#)
- [Editorial Office](#)

## Journal Browser



[Forthcoming issue](#)
[Current issue](#)

Vol. 17 (2025)	Vol. 8 (2016)
Vol. 16 (2024)	Vol. 7 (2015)
Vol. 15 (2023)	Vol. 6 (2014)
Vol. 14 (2022)	Vol. 5 (2013)
Vol. 13 (2021)	Vol. 4 (2012)
Vol. 12 (2020)	Vol. 3 (2011)
Vol. 11 (2019)	Vol. 2 (2010)
Vol. 10 (2018)	Vol. 1 (2009)
Vol. 9 (2017)	

## Special Issues

*Sustainability* publishes Special Issues to create collections of papers on specific topics, with the aim of building a community of authors and readers to discuss the latest research and develop new ideas and research directions. Special Issues are led by Guest Editors, who are experts on the topic and **all Special Issue submissions follow MDPI's standard editorial process**. The journal's Editor-in-Chief and/or designated Editorial Board Member will oversee Guest Editor appointments and Special Issue proposals, checking their content for relevance and ensuring the suitability of the material for the journal. The papers published in a Special Issue will be collected and displayed on a dedicated page of the journal's website. **Further information on MDPI's Special Issue policies and Guest Editor responsibilities can be found here**. For any inquiries related to a Special Issue, please contact the Editorial Office.

Section <input type="text" value="All Sections"/>	Search by Title/Keyword <input type="text"/>	<input type="button" value="Search"/>
Order results <input type="text" value="Submission Deadline"/>	Display <input type="text" value="Open Special Issues"/>	Results per page <input type="text" value="100"/>

### Advancements in Concrete Materials for Sustainable Construction

edited by **Mouhcine Benaicha**

submission deadline **30 Apr 2026** | Viewed by 11 | [Submission Open](#)

**Keywords:** self-compacting concrete; ultra-high-performance concrete; fiber-reinforced concrete; sustainable materials; recycled aggregates; geopolymers; low-carbon construction; eco-friendly materials; advanced concrete technologies

### ESG as a Catalyst for Business Sustainability: Theoretical Insights and Practical Applications

edited by **Zhilin Yang**, **Hui Lu** and **Gang Li**

submission deadline **20 May 2026** | Viewed by 54 | [Submission Open](#)

**Keywords:** sustainable development; ESG (environment; social and governance); business sustainability; corporate social responsibility; environmental management; climate change; digitalization; innovation and sustainability; green finance

(This special issue belongs to the Section Economic and Business Aspects of Sustainability)

### Sustainable Design, Evaluation and Optimization of Eco-Friendly Construction Materials

edited by **Shaopeng Wu**, **Chuanming Sun**, **Hanqi Liu** and **Anqi Chen**

submission deadline **31 Aug 2026** | 7 articles | Viewed by 10772 | [Submission Open](#)

**Keywords:** material characteristics; environmental impact assessments; urban infrastructure optimization; eco-friendly material assessments; advanced pavement construction materials; material visual optimization; sustainable culture development

(This special issue belongs to the Section Sustainable Materials)

Displaying special issue 1701-1800 on page 18 of 18.

Go to page [18](#)



[Submit to Sustainability](#)
[Review for Sustainability](#)
[Propose a Special Issue](#)

## Journal Menu

- [Sustainability Home](#)
- [Aims & Scope](#)
- [Editorial Board](#)
- [Reviewer Board](#)
- [Topical Advisory Panel](#)

[Instructions for Authors](#)
[Special Issues](#)
[Policies & Comments](#)
[Article Processing Charge](#)
[Indexing & Archiving](#)
[Topical Choice Articles](#)

- [Journal Statistics](#)
- [Journal History](#)
- [Journal Awards](#)
- [Society Collaborations](#)
- [Conferences](#)
- [Editorial Office](#)

## Journal Browser




- > [Forthcoming issue](#)
- > [Current issue](#)

Vol. 17 (2025)	Vol. 8 (2016)
Vol. 16 (2024)	Vol. 7 (2015)
Vol. 15 (2023)	Vol. 6 (2014)
Vol. 14 (2022)	Vol. 5 (2013)
Vol. 13 (2021)	Vol. 4 (2012)
Vol. 12 (2020)	Vol. 3 (2011)
Vol. 11 (2019)	Vol. 2 (2010)
Vol. 10 (2018)	Vol. 1 (2009)
Vol. 9 (2017)	

## Special Issues

*Sustainability* publishes Special Issues to create collections of papers on specific topics, with the aim of building a community of authors and readers to discuss the latest research and develop new ideas and research directions. Special Issues are led by Guest Editors, who are experts on the topic and all **Special Issue submissions follow MDPI's standard editorial process**. The journal's Editor-in-Chief and/or designated Editorial Board Member will oversee Guest Editor appointments and Special Issue proposals, checking their content for relevance and ensuring the suitability of the material for the journal. The papers published in a Special Issue will be collected and displayed on a dedicated page of the journal's website. **Further information on MDPI's Special Issue policies and Guest Editor responsibilities can be found here**. For any inquiries related to a Special Issue, please contact the Editorial Office.

Section

Search by Title/Keyword

Order results

Display

### Advancements in Concrete Materials for Sustainable Construction

edited by Mouhcine Benaich

submission deadline 30 Apr 2026 | Viewed by 11 | [Submission Open](#)

**Keywords:** self-compacting concrete; ultra-high-performance concrete; fiber-reinforced concrete; sustainable materials; recycled aggregates; geopolymers; low-carbon construction; eco-friendly materials; advanced concrete technologies

### ESG and Catalyst for Business Sustainability: The Retained Insights and Practical Applications

edited by Zhiliang Qiu, Huiyu and Gang

submission deadline 30 Apr 2026 | Viewed by 11 | [Submission Open](#)

**Keywords:** sustainable development; ESG (environment, social and governance); business sustainability; corporate social responsibility; environmental management; climate change; digitalization; innovation and sustainability; green finance  
(This special issue belongs to the Section Economic and Business Aspects of Sustainability)

### Sustainable Design, Evaluation and Optimization of Eco-Friendly Construction Materials

edited by Shaopeng Wu, Chuanming Sun, Hanqi Liu and Anqi Chen

submission deadline 31 Aug 2026 | 7 articles | Viewed by 10772 | [Submission Open](#)

**Keywords:** material characteristics; environmental impact assessments; urban infrastructure optimization; eco-friendly material assessments; advanced pavement construction materials; material visual optimization; sustainable culture development  
(This special issue belongs to the Section Sustainable Materials)

Displaying special issue 1701-1800 on page 18 of 18.

Go to page 16 17 18

受付中の特集号が  
1,703企画



本質：「雑誌」の

クオリティ

コントロール



# 学術雑誌のクオリティコントロール

- 購読モデル：質が低ければ買われなくなる。質はビジネスに重要
- APCモデル：質が低ければ投稿されなくなる……はず？
  - 論文を投稿・発表するニーズは根強く、伸び続けている
  - 「国際誌ならPredatorでもいい」「Predatorでさえなければいい」
  - クオリティコントロールを犠牲にしても多くの論文を出すのが正解？
    - 一定以上出せば、出していることが権威の保証にもなる
- 質を無視したのがpredator、多少犠牲にしたのが特集号



# 問題の根本

- 「国際的な」「査読付き雑誌」での発表を求める著者の態度
  - さらにその背景：評価制度
- 評価制度自体が変わらない限り本質的な問題は解決しない
  - 手を変え品を変えてくるだけ（ハゲタカ⇒特集号と論文工場）
- 評価体制・成果公表体制を変えるしかない！
  - 西岡先生のお話しへ！（綺麗につながった！！）



## 書籍ジャンル

[図書館・図書館情報](#)[LLブック関連](#)[マンガ表現・著作権](#)[博物館](#)[教育](#)[心理](#)[ビジネス](#)[その他](#)[電子版配信銘柄一覧](#)[シリーズで探す ▼](#)

テキスト採用を  
お考えの  
先生方へ

# オープンサイエンスにまつわる論点 変革する学術コミュニケーション

一般社団法人 情報科学技術協会 監修

南山 泰之 編

池内 有為・尾城 孝一・佐藤 翔・林 和弘・林 豊 著



在庫あり

電子版あり（リフロー型）



2023 年 6 月 20 日 刊行

ISBN978-4-88367-380-3

A5判 168頁

定価 2,640 円（本体 2,400 円＋税 10%）

## 内容紹介

伝統的なオープンアクセスの視座を踏まえつつ、研究データ管理、プレプリント、次世代リポジトリといったテーマを組み込んだ。オープンサイエンスの概念の広がりや現在の論点を整理し、読者が構造的に理解できるよう工夫した一書。

[本書の用語集を公開しております。](#)



[新刊情報](#)[近刊情報](#)[書評に載った本](#)[本の詳細検索](#)[お問い合わせ](#)[お知らせ](#)[書店の方へ](#)

## 図書館を学問する

なぜ図書館の本棚はいっぱいにならないのか

佐藤 翔 (著)

A5判 176ページ 並製

定価 **2400円**+税

ISBN978-4-7872-0088-4 C0000

書店発売予定日 2024年12月25日

登録日 2024年11月14日

[シェアする](#)[X ポスト](#)[B!ブックマーク](#)[読書メーター](#)[ブックログ](#)[本を引用](#)[試し読み](#)